

## 今日は何の日 カレーの日

今日1月22日は、全日本カレー工業協同組合が2016(平成28)年に制定したカレーの日です。1月22日が「カレーの日」になったきっかけは、実は「学校給食」でした。1982(昭和57)年のこの日に学校給食創立35周年を記念して、全国学校栄養士協議会が全国一斉に「学校給食にカレーを提供しよう」と呼びかけたことが由来です。なぜ1月22日かというと、先日の「もっとわくわく通信162号」でも紹介した「学校給食週間(全国:1月24日~30日)」に入る前に、当時から子供たちに人気の高かったカレーライスを提供したからと言われていいます。そして、1月22日は「カレー給食の日」が定着し、全日本カレー工業協同組合員から、「せっかくそんな日があるのだから、記念日に登録して広く周知しよう」と発案があり、2016(平成28)年に日本記念日協会に登録するに至ったそうです。ちなみに、帯西では明日23日(木)がカレーライスの登場となっています。帯西では、ポークカレーが最も給食の残食が少ないそうです。



カレーが初めて日本に入ってきたのが、江戸幕府が鎖国を止めて横浜を開港した1858(安政5)年だそうですが、すっかり家庭でも定番メニューになっていますね。

## 校内造形展

子供たちが作った、図工の作品展が、校内で展示されています。期間は、1月20日(月)~24日(金)です。この期間は、全校児童が同学年・他学年の作品鑑賞をしながら、そのよさを感じ取っていきます。子供たちの作品は、どれも思いが溢れるものです。また、図工の時間に、担任や指導した教諭が、その子らしい資質や能力を発揮できるようにという願いも感じ取ることができます。この校内造形展に向けて、図工の「特別ではない普通の授業」の中で、制作に励みました。ある子供は、家族の喜ぶ笑顔を思いながら、材料を工夫したり、動きを加えたり、先生や友達と相談しながら作っていました。



造形・美術教育は、「その子が、その子らしく作品を創る」という「当たり前」の時間です。学校教育現場では、造形展等で学び合いながら、「当たり前」を守ってきたのです。子供たちが、作品を家庭に持ち帰ったら、そのかけがえのない作品を是非話題にしてください。

## 豆知識

18世紀、イギリスはインドを植民地としていて、その中でも「ベンガル地方」という地域がメインでした。ここでは主食がお米だったので、ご飯にスパイスの汁をかけて食べる「カレーライス」が、イギリスに伝わっていきました。その後、イギリスからカレーが日本に持ち込まれ、明治末期には「じゃがいも、玉ねぎ、人参」が定番のカレーの具材として定着しました。これは日本独自のスタイルであり、インドカレーにもイギリスのカレーにもこの風習はないようです。ちなみにインドにカレーという料理は存在していません。インドの人々にとって、カレーという言葉はスパイス料理の総称でしかないという理由です。

